

# 通級指導教室 自立活動学習指導案

自閉症・情緒障害通級指導教室（あけぼの教室）

3人（2年男子3人）

指導者 T1 池水 晃 T2 佐藤 貴美子

## 1 活動名 いいところ見つけたよ

### 2 活動の目標

#### (1) 全体目標

- 友達のよいところを見付けるときの二つの視点（「やさしいところ」、「がんばっているところ」）から、友達のよいところを見付け、伝え合うことができる。
- ルールを守って友達と協力して活動することができる。

#### (2) 個人目標

A児	○見付けた友達のよいところを伝え合い、互いのよさを認め合うことができる。 ○自分の考えを伝えながら友達と協力して活動することができる。
B児	○視点に沿って友達のよいところを見付け、伝えることができる。 ○友達に確認するというルールを守って活動することができる。
C児	○友達のよいところを見付け、伝えることができる。 ○ルールを理解し、友達と協力して活動することができる。

### 3 活動で目指す子供の姿

主体性	二つの視点から友達のよいところを見付け、伝えようとする。
協働性	互いに考えを伝え合いながら、課題を解決しようとする。
創造性	実生活でも自分のよいところを生かし、意欲的に活動しようとする。

### 4 活動について

#### (1) 活動設定の理由

対象となる3人の子供は、在籍学級や通級指導教室での様々な学習や経験を重ね、以前より落ち着いて集団生活を送ることができるようになってきている。また、通級指導教室での様々な活動に楽しみながら取り組んでいる。しかし、友達と仲良くしたいと思いながらもうまく関われなかったり、苦手なことがあると感じてしまったりすることで、自分に自信がもてず、活動に消極的になることもある。また、集団の中では、状況に応じて行動することやルールを守ることが難しく友達とトラブルになる場面も見られる。

そこで、本活動では、二つの視点（「やさしいところ」、「がんばっているところ」）から友達のよいところを見付け、そのよさを伝え合うことで、友達や自分のよさに気付くことができるようにする。また、3人で力を合わせることで達成できる活動を設定することで、友達と協力して活動できるようにする。

指導に当たっては、友達のよいところを見付けるときの二つの視点を示し、活動全体を通して、その視点から友達のよいところを見付けることができるようにする。まず、「つかむ・見通す」過程では、いろいろな場面を、紙芝居や教師の役割演技（VTR）にして見せることで、その二つのよさを具体的に確認できるようにする。次に、「活動する」過程では、実際に友達と協力してパズルをする中で、友達のよいところを見付けることができるようにする。パズルは、平面から立体へと難易度を上げていくことで、より協力して課題を解決することができるようにする。また、授業の中で見付けたよいところを言葉やカードで伝え合う場を設定することで、「互いによいところを伝え合って活動すると楽しいな。」「自分のよいところを見付けてもらえてうれしいな。」などの体験を重ねられるようにする。さらに、授業後には、在籍学級の担任や家庭と連携しながら、実生活でも子供のよさを認め、子供に伝えていくことで、自分に自信をもつことにつながるようにする。

このような活動を通して、子供は二つの視点をもとに在籍学級や家庭でも友達や家族のよさを見付けられるとともに、自分のよさにも少しずつ気付くことができるようになると思う。また、そのような姿を賞賛されることで、自己肯定感が高まり活動に意欲的に取り組むことができると思う。それらの多くの経験が子供の成長をさらに促し、生活を楽しく豊かにしていくことにつながると思う。

## (2) 子供の実態

		A児	B児	C児
重点目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の行動に自信をもち、様々な活動に参加できる</li> <li>自分の思いや考えを言葉で相手に伝えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のやりたいこととみんなでやるべきことの折り合いをつけて行動できる</li> <li>集団で行う活動の中でも自信をもって行動できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動のルールや流れを理解し、友達と一緒に活動することができる</li> <li>活動の中で自分の思いを相手に伝えることができる</li> </ul>
心理的な安定		<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて経験することや苦手意識があることに対しては、消極的になることがある。</li> <li>自分の考えを言葉で伝えるのが難しく、相手の考えに合わせたり、教師の指示を待ったりすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手意識があることに対して消極的になることがあるものの、できていることを称賛することで多くの活動に意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れない活動では、自信のなさが言動に表れることがあるものの、できていることを称賛することで、活動に意欲的に取り組むことができつつある。</li> </ul>
人間関係の形成	他者の意図や感情の理解に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>折り紙や読書等、興味があることに集中している場面では、友達の言葉掛けや誘いに気付かず周囲の状況把握が難しいこともある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや思いを主張し過ぎてしまい、友達の意見を聞き入れることが難しく、友達とトラブルになることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から教師や友達と関わりをもとうとするが、言葉で自分の考えを伝えることが苦手で、協力して活動に取り組むことが難しい。</li> </ul>
	集団への参加の基礎に關すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中で、ルールを守って意欲的に活動することができるが、初めて行うことに対して消極的になったり、周りの人の行動に影響されやすかったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団で活動する中で自分のやりたいことを優先する様子が見られるが、ルールを提示したり、言葉掛けしたりすることで守ることができつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境においては、不安が強く、自分から進んで活動することが難しいことがある。</li> <li>不安や恥ずかしい気持ちが大きくなると、消極的になることがある。</li> </ul>

## 5 指導に当たって

### (1) 主体的な学びを実現する教師の手立て

授業の始めに、本活動全体の内容が書かれた「活動マップ」を提示し、これまでの学習の流れや内容を確認し、本時の学習に見通しをもって意欲的に取り組めるようにする。また、二つの視点（「やさしいところ」、「がんばっているところ」）を毎時間提示したり、「できたかなカード」で学習したことを振り返らせることで、友達のよいところを見つけたことを称賛することで、これからの学習や実生活に生かそうという意欲がもてるようにする。また、在籍学級の担任や保護者にも子供のよさをワークシートに書いてもらい子供に伝えたり、称賛してもらったりすることで、実生活でも様々な活動に自信をもって主体的に取り組むことができるようにする。

### (2) 対話的な学びを実現する教師の手立て

友達のよいところを見付ける場面では「名前を呼ぶ」、「友達に確認する」などのルールを設定し、3人で互いの考えを伝え合いながら協力して活動できるようにする。また、ゲームは、友達と確認し合いながら進めるルールを設定したり、1人では組み立てが難しい立体のパズルを設定したりすることで、協力して活動できるようにする。

### (3) 深い学びを実現する教師の手立て

在籍学級の担任と連携することで、本活動で学んだことを他教科や実生活の中でも生かせるようにする。例えば、体育科の「とびっこ遊び」（跳の運動遊び）において、跳び方を教え合ったり、互いの跳び方のよかったところを認め合ったりすることで、友達のよさを伝えることの有用性や汎用性に気付き、「もっと友達のよいところを見つけていこう。」という意欲を高めることができるようにする。

6 指導計画(総時数4時間)

過程	時間	指導のねらいと主な活動内容
つかむ・見通す	1	「よいところを見付けるときの視点を知ろう」 【指導のねらい】 よいところを見付けるときの二つの視点(「やさしいところ」,「がんばっているところ」)を知り,よいところを見付けることができる。 【活動内容】 1 二つの視点を知る。 2 活動全体の流れを知る。 3 「よいところみっけ(紙芝居)」を見て,登場人物のよいところを見付ける。 4 本時を振り返り,次時への見通しをもつ。
	1	「劇を見て,話の中の人のよいところみっけをしよう」 【指導のねらい】 設定場面の中から,登場人物のよいところを見付けることができる。 【活動内容】 1 前時の学習を想起し,二つの視点を確認する。 2 「よいところみっけ(VTR)」を見て,登場人物のよいところを見付ける。 3 本時を振り返り,次時への見通しをもつ。
	1 (本時)	「パズルをしながら,友達のよいところみっけをしよう」 【指導のねらい】 友達のよいところを見付け,伝えることができる。 【活動内容】 1 前時までの学習を想起し,二つの視点を確認する。 2 「よいところみっけ(平面パズル)」をする。 3 学習の進め方や活動内容を知る。 4 「よいところみっけ(大型平面パズル)」を行い,見付けたよいところを伝え合う。 5 友達のよいところをカードに書き,伝える。 6 本時を振り返り,次時への見通しをもつ。
振り返る	1	「立体パズルをしながら,友達のよいところみっけをしよう」 【指導のねらい】 友達のよいところを見付けて伝え合い,協力して活動することができる。 【活動内容】 1 前時までの学習を想起し,二つの視点を確認する。 2 学習の進め方や活動内容を知る。 3 「よいところみっけ(大型立体パズル)」を行い,見付けたよいところを伝え合う。 4 友達のよいところをカードに書き,伝える。 5 本活動を振り返り,学習のまとめをする。



新たな学び	
体育科2年(11月) 単元名:「とびっこ遊び」(跳の運動遊び) 【指導のねらい】 友達と仲良く運動遊びに取り組むことができる。 【主な活動内容】 ① 跳び方を教え合い,とびっこ遊びを楽しむ。 ② 互いの跳び方のよかったところを伝え合う。	

7 本 時(3/4)

(1) 目 標

友達のよいところを見付け、伝えることができる。

個人 目 標	A児	友達とよいところを伝え合い、そのよさに気付くことができる。
	B児	見付けた友達のよいところを具体的に伝えることができる。
	C児	友達のよいところを見付け、分かりやすく伝えることができる。

(2) 展 開  教師の言葉掛け  予想される子供の反応 **聞く、話す、見る、動く** 学びを充実させるための活動 ◆評価に関すること ☆ICT活用上の留意点

過程 (分)	主な学習活動と予想される子供の反応	子供に応じた具体的な手立て		
		A 児	B 児	C 児
つか か む ・ 見 通 す (7)	<p>1 前時までの学習を振り返り、二つの視点を確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「いいところみつけパズル」をしながら、友達のよいところを見付けよう。</div> <p style="text-align: center;">パズルをしながら、みんなのよいところを見付けるぞ。</p> <p>3 学習の流れを確認する。<b>見る</b> <b>聞く</b></p> <p>4 ゲーム(「よいところみつけ(平面パズル)」をする。<b>動く</b></p> <p>(1) 3人でパズルのピースを集める。</p> <p>(2) 友達のよかったところを見付け、伝える。<b>話す</b></p>	<p>☆ 「活動マップ」を提示することで、これまでの学習を振り返り、本時の学習では、ゲームを通して友達のよさを見付ける活動をするという見通しをもつことができるようにする。【主】</p> <p>☆ ルール説明は短い言葉でポイントを押さえ、大型テレビに提示しておくことで、子供が安心してゲームに参加したり、ゲーム中に確認したりできるようにする。【主】</p> <p>○ 友達が実際に活動する様子を見る場面を設定することで、友達のよさを見付けることができるようにする。【主】</p> <p>○ パズルのピースを集め終わった時に、子供同士で友達のよいところを伝え合うことで、友達や自分のよさに気づき、パズルをする際にもそれぞれのよさを見付けながらゲームをすることができるようにする。【主】</p> <p>○ ゲームでは、「友達に確認する」、「1人1枚は、はめる」という二つのルールを設定することで、3人で話し合いながら協力して活動できるようにする。【対】</p>		
活 動 す る (30)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">Aさんが順番をゆづってくれました。</div> <div style="text-align: center;">⇄</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">Bさんがあきらめずに最後までがんばっていました。</div> </div> <p>(3) ルールを確認し、3人でパズルをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">・ 友達に確認する。 ・ 1人1枚は、はめる</div> <p>(4) 友達のよかったところをカードに書いて伝える。</p>	<p>○ カードに書いたものを伝えたり、前もって伝える活動があることを知らせたりすることで、安心して自分の考えを伝えられるようにする。</p> <p>○ 活動を始める前に二つの視点を確認させたり、よいところを伝える際に話型を示したりすることで、友達のよさを具体的に伝えることができるようにする。</p> <p>○ 発表話型を提示することで、自信をもって見付けた友達のよさを伝えることができるようになる。</p>		
振 り 返 る (8)	<p>5 本時を振り返り、学習の感想を発表する。<b>話す</b></p> <p>今日は、友達のよいところを見付けたり、自分のよいところを見付けてもらったりしました。授業で感じたことを発表しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">いいところを見付けてもらって、うれしかったです。</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;">いいところをたくさん見付けました。次もたくさん見付けたいです。</div> </div> <p>6 次時の学習について知る。</p>	<p>○ 子供が自信をもって友達のよさを伝えることができるように、話型カードを示したり、カードに記入させたりする。【主】</p> <p>◆ 見付けた友達のよいところをカードに書いて伝えることができたか。</p> <p>○ 友達が記入した自分のよさが書かれたカードが手元に残るようにすることで、自分の頑張りの積み重ねを実感することができるようにする。【主】</p> <p>◆ 互いのよさを認め合うことのよさを感じ、本時の振り返りをすることができたか。</p> <p>○ 次時に取り組む立体パズルを提示し、友達のよいところを見付けながらゲームに取り組みたいという意欲を高められるようにする。【深】</p>		

「いいところ見つけたよ」本時（3／4）における授業想定シート

本時で期待される子供の姿

主体性	二つの視点を意識しながら活動する中で、友達のよいところを見付け、伝えようとする。
協働性	友達のよいところを見付けながら、協力してパズルを完成させようとする。
創造性	よいところを見付けるよさや互いを認め合う喜びを感じ、実生活でも友達のよさを見付けようとする。

育成を目指す資質・能力

活動の中で二つの視点を意識しながら友達のよいところを見付け、伝えることができる。

本時で働かせたい「見方・考え方」

見方（～に着目して）

考え方（思考の枠組み・方法）

活動中の友達の行動や表情、言葉に着目して、友達のよいところ（「やさしいところ」、「がんばっているところ」）を見付け、伝え合うことができる。

見方・考え方を働かせた子供の発言の想定と教師の言葉掛け

課題解決で働く見方・考え方

4-(2) ピースを集めるときに見付けた友達のよいところを伝え合う。



見付けた友達のよいところを伝え合いましょう。

Bさんは、うまくいなくてももう1回挑戦しているところが、がんばっていると思いました。



ぼくもそう思いました。あと、ぼくはAさんが「がんばれ。」と応援しているところがやさしいと思いました。

Cさんが、順番をゆずってくれたのがやさしいと思いました。うれしかったです。



すごい。みんな、友達のよいところを見付けることができましたね。よいところを伝え合うとうれしいという気持ちになるのですね。

5 本時を振り返り、学習の感想を発表する。



友達のよいところを見付けたり、自分のよいところを見付けてもらったりしました。授業で感じたことを発表しましょう。

いいところを見付けてもらってうれしかったです。



いいところをたくさん見付けることができました。次もたくさん見付けたいです。



そう思ったのですね。友達のやさしいところやがんばっているところを見付けて伝えると「うれしい」、「がんばろう」という気持ちになるのですね。

活動中の友達の行動や表情、言葉に着目して、やさしいところやがんばっているところを伝え合うことができる。

自分が見付けたよいところや友達に見付けてもらったよいところに着目して、そこから思ったことを伝えることができる。

振り返りにおいて期待される子供の発言や記述

- ・ 友達のやさしいところやがんばっているところを見付けて、伝えることができた。
- ・ 友達から自分のやさしいところやがんばっているところを教えてもらえてうれしかった。